

(仮訳)

第1回TICADV閣僚会合（2014年5月4～5日）

特別セッション「女性と若者の能力強化」

議長総括

岸田文雄日本国外務大臣及びローズ・ムウェバザ・アフリカ連合委員会（AUC）委員長ジェンダー担当補佐官の共同議長の下、女性と若者の能力強化に関する会合が行われた。会合は、岸田大臣及びムウェバザ補佐官の基調演説に始まり、ジーン＝バプティステ・ナタマAUC官房長、レイモンド・アゴッソウAUC人的資源・科学技術局若者担当課長、瀬谷ルミ子日本紛争予防センター理事長によるパネルディスカッションが行われた。

岸田大臣とムウェバザ補佐官は、女性と若者の能力強化には、女性の社会・経済進出、平和・安全保障分野における女性の主流化、教育・技能訓練を通じた若者の能力強化について、国レベル、地域レベル、世界レベルで特別な注意を払う必要があると述べた。

岸田大臣とムウェバザ補佐官の基調講演に続き、参加者は、多岐にわたる論点について議論を行い、情報を共有し、女性と若者の更なる能力強化のための実用的な提案を行った。主要な論点及び結論に至った事項は以下の通り。

- （1）参加者は、世界中の女性と若者は開発と経済成長にとって最大の可能性を有しており、現状では十分に活用されていないという認識を共有した。参加者は現在に至るまで国レベル、地域レベル、世界レベルで女性と若者の能力強化に向けた努力がなされていることを認識した。例えば、横浜宣言2013及び横浜行動計画2013－2017は、開発アジェンダのあらゆる側面にわたり、女性と若者の主流化と人間の安全保障の推進に特別に留意しており、アフリカ連合は、AUジェンダー政策及びAU若者10年行動計画2009－2018等を通じて、女性と若者を主流化する様々なイニシアティブに取り組んでいることを、参加者は想起した。
- （2）女性の能力強化に関し、参加者は、TICADVにおいてテーマ別会合「ジェンダー平等と女性のエンパワーメントを通じたアフリカ開発の推進」が開催され、当該分野でのアフリカとTICADパートナーとの間

の協力を前進するための同会合開催を歓迎したことを想起した。参加者は、アフリカでの女性の能力強化の進展には女性の社会・経済進出への投資が求められることについて一致した。

- (3) 参加者は、都市部及び農村部での女性起業家は増加している一方で、彼女たちのビジネス収益性を強化する必要性について認識した。収益性が強化された場合、女性は行商・零細企業家から中小企業家へと変貌を遂げることが可能となる。それは結果的に女性の所得向上と雇用創出に繋がる。
- (4) 経済的及び社会的側面に加えて、参加者は、女性と平和・安全保障に関する国連安保理決議に従い、平和・安全保障分野における女性の主流化の重要性を認識した。参加者は、これらの決議は紛争予防、紛争解決及び平和構築・維持における能動的な主体として女性の平等かつ完全な参加の重要性を強調するものであると想起した。
- (5) 若者の能力強化に関し、参加者は、若者の大半はグローバル化がもたらす機会から疎遠化され、切り離され、閉め出されていることを認識した。特にアフリカでは、全人口の40%以上が若者であり、65%以上が35歳以下である。アフリカは最も若者に満ちあふれた大陸である。
- (6) 参加者は、横浜行動計画2013－2017は、若者雇用、起業のための能力開発、平和の定着に関する革新的なプログラムを強化する重要性を強調していることを想起した。アフリカ青年憲章に言及しつつ、参加者は、若者開発、若者の主流化、技能開発・指導、起業家開発及び若者参画に対する権利に基づいたアプローチを含む、アフリカの若者の能力強化を推進するための戦略を議論した。

(了)